

だい きやまとし たぶん かきょうせいかいぎ だい かいかいぎ ろく ようやく  
第4期大和市多文化共生会議 第1回会議録(要約)

にちじ ねん がつ にち ど  
日時: 2016年2月13日(土)14:00~16:00

ばしょ やまと し やくしよぶんちようしや かいかいぎしつ  
場所: 大和市役所分庁舎2階会議室

しゅつせき いいん いしま いとうもとみ いのみさと くするみこ  
出席: 委員(石間フロルデリサ、伊藤素美、猪野美里、ウプレティ マトリカ、楠瑠美子、  
しらとりせつろう しようじ せやまり たのいさいな ふかわたかつね ふじもとやすお よう  
白鳥節郎、東海林まりえ、瀬谷麻里、田野井咲奈、府川貴恒、藤本康男、楊  
せいふん やまと し こくさい だんじよきようどうさんかくか みずお こうえきざいだんほうじんやまと し こくさい  
世芬) / 大和市国際・男女共同参画課(水尾) / 公益財団法人大和市国際  
かきょうかい おぎそ さかい たなか こにし いしかわ いじょう めい  
化協会(小木曾、酒井、田中、小西、石川) 以上18名

けっせき いいん けいしよりやく  
欠席: 委員(ハゲイ パトリシア)(敬称略)

いしよくじょうこうふ  
1 委嘱状交付

こうえきざいだんほうじんやまと し こくさい かきょうかい りじちようおぎそ かくいいん いしよくじょう こうふ あと  
公益財団法人大和市国際化協会理事長小木曾から各委員へ委嘱状を交付した後、  
じこしよukai おこな  
自己紹介を行った。

かいぎ がいよう  
2 会議の概要

じむきよく かいぎ がいよう せつめい あと しつぎおとう おこな  
事務局から会議概要を説明した後、質疑応答を行った。

ぐたいてき とく  
具体的な取り組みとは?

いいん ぐたいてき しく がいこくじん さんかく おこな  
○委員:具体的にどういう仕組みで外国人の参画を行っていくのか?

じむきよくたと し こうほ いいん がいこくじん さんかく しく  
○事務局:例えば、市の公募委員は外国人が参画しやすい仕組みになっていない。どう  
すれば外国人が参画しやすくなるのか、この会議を通して日本人に対して発信してい  
きたい。

いいん どういつた ばめん ひら かん がいこくじん かた き  
○委員:どういった場面で開かれていないと感じるのか、外国人の方に聞いてみたい。こ  
の点はすごく重要で、私自身、外国人に開かれていないのではないかと感じる時  
がある。子どもが幼稚園に通っていて、外国人の保護者と一緒になるときがあるが、日  
本語ができないと(日本人の)話に入ってくるできないので、コミュニティに溶け  
込んでいないのではないと思う。でも、それは外国人が日本語ができるようになれば  
解決することなのかもしれない。この会議は、具体的にどういう取り組みにつなげてい  
くのか、私の中でまだイメージできていない。

いいん やまと し みりよく がいこくじん おお す おも がい  
○委員:大和市は魅力あるまちだから、外国人が多く住んでいるのではないと思う。外  
国人の自立とか、外国人との共生などと言われているが、外国人と日本人を分ける  
のではなく、一緒に考えた方がよいのではないか。外国人でも日本人でも大和でがん  
ばって生活していこうという人もいれば、それほどがんばらなくてもいいと考える人だっ

ている。どういう人を対象にするかで、アプローチも変わってくるのではないだろうか。

○事務局：この会議では、外国人ではなく、日本人に対して働きかけていくことを考えている。

○委員：日本人でも、自治会に入らない、公募委員にもならない、選挙にもいかない、そんな方々はたくさんいる。そんな日本人のレベルを上げるほかないのではないか。そうすれば大和市は活性化するのではないか。

### 「郷に入れば郷に従え」をめぐる

○委員：ヨーロッパ4カ国くらいに住んだことがあるが、ヨーロッパでも(外国人に対して)こんなことまで考えてくれなかった。自分は自治体からこのような説明を受けたことがない。現在は難民の問題が発生して困っているが、自分の経験で言えば、住みたければ住んでいいが、現地のルールに従えというものだった。そういう意味で言えば、これだけ考えてくれる日本はすごくいい国だと言える。住んでいる外国人にとっては、ある意味、余計なことではないかと思う。日本人にとっては、ゴミはきちんと決まった日に出してくれとか気にしていることがあるが、住んでいる外国人はそんなことあまり気にしていない。市として、住んでいる外国人にどのようなサービスを提供するのか。(外国人に)日本語を覚えろ、とかは多文化とは言えない。

○委員：日本人が閉じているから開きましょう、と訴えかけるのだとしたら、どこで閉じているのかという問題意識がないといけない。かつて日本語教育に興味があったので、学校の先生におたずねしたことがある。それは外国籍で、母語が日本語ではないお子さんが学習面でつまづいているという問題。その辺の話であれば、(日本人に対する働きかけが)できるのではないか。どういう点で問題意識を持つのが大事だと思う。

○委員：ヨーロッパでは総じて「郷に入れば郷に従え」という考え方を持っているが、肝心なのは強制しないこと。日本人は海外に行っても(現地の人に)文句を言われることはない。(海外で日本人に対して)キリスト教に改宗しろとは言われない。違いは違いとして認めることが大事。大和市のルールが外国人の母国のやり方と違うのであれば、大和市のルールにあわせてもらえばいい。大和市のルールを変えるといった共生をする必要はない気がする。自治体がここまで考えてくれるなんてすごくいい。言葉は悪いが(外国人から日本人に)文句を言う筋合いはないと思う。

○委員：その点はずっと外国人の人にわかってほしいといつも思っている。日本人は一生懸命やっていることを(もっと外国人に)伝える方法を考える必要がある。日本人も外国人はこうなんだ、と理解すればもっと魅力あるやまとになる。

○委員：普段、日本語教室で外国人に日本語を教えている。外国人は本当に「郷に入

れば郷に従え」と思って暮らしている。ゴミ出しだって気にしている。本当に今日ゴミ出しの日なのか、他の人がゴミ出しするのを確認した後にゴミを出しているくらい、気を使って生活している。そのことは日本人も理解しないとイケない。それでも国・文化が違うのでうまくいかないこともある。どうやって歩み寄って多文化共生を進めるかが大切。(日本人と外国人が)お互いに歩み寄らないとイケないと思っている。

○委員:むずかしく多文化共生と言ったって、単なる生活のルール、そのまちのルールではないか。多文化共生と言ってしまおうとお互いに構えてしまおうのではないか。

○委員:ゴミ出しは単なる例え。日本人の中には暗黙のルールのようなものがある。それを(外国人が)理解しないと(日本人同士が)わたしたちと違うのではないか、変なのではないか、とってしまおう。その壁を低くして、お互いにいろいろと話し合えたらと思う。それがこの会議の目的なのではないかと思っている。

#### 日本社会のしくみ(ルール)とは?

○委員:(日本の)会社だと新入社員の受け入れ教育が1~3か月ある。大和市では、外国人が市に登録する際に、そのような(教育を受ける)機会はあるのだろうか。

○事務局:市に転入するとき市側が外国人に説明する機会ほとんどないと思う。

○委員:なぜしないのだろうか。

○委員:日本人が(引っ越しをして新たに)住民登録をしたとしても窓口で特に説明がないのと同じで、外国人だからと言って市から(特別な)説明があるわけではない。もちろん、(国際化協会のような)外国人に情報提供する機関はある。実は妻が外国人なのだが、(外国人にとって)日本はルールが多くて、がんじがらめの状態(だと思う)。ゴミ出しにしても、学校にしても、電車に乗るにしてもルールを守らないとこの国にはとても住めない。外国人と一緒に暮らした経験があるからこそ、私たちが(日本人)は気が付かないが、この国はルールに守られているから治安がいいし、平和で、安全な国なのだと思った。私は、しくみを変えるのではなく、このしくみでいいと思うが、このしくみをわかっていない外国人が多いのではないかと思う。外国人は、(日本が)どういう風なしくみなのか、わかっていないのではないか。(外国人は日本人に対して)どういう風に迷惑をかけているのかわからないし、どうやって私たち(日本人)のコミュニティに入っていくのかわからないのだと思う。「郷に従え」ならそれで構わないのだが、(外国人と)同じ目線に立っている人が間に入って説明しないと、外国人は(いつまでたっても)わからない。しくみの問題ではなく、その前の段階の問題ではないかと思う。これだけ外国人が増えている状況でありながら、情報を発信する重要性を私たち(日本人)が忘れているのではないかと思う。

- 委員：すごくよくわかった。ゴミ出しにしても、何にしても、そうしたガイド役(のような存在)がいなくて、外国人が(日本の社会のルールを)よくわからないのではないか。
- 委員：そうした人(ガイド役)がいることが、行政とか高いレベルではなく、一般の市民のレベルでいることが大切になってくる。
- 委員：外国人でも部屋を借りるはずなので、不動産屋さんがいろいろと説明してくれるのではないか。
- 委員：外国人の賃貸率って意外と低いのではないか。例えば、韓国人だったらお風呂場でキムチをつくるかもしれないから、南米の人だったら週末になったら騒ぐかもしれないから、といったリスクを(日本人の不動産屋さんは)感じてしまう。外国人というだけでひとくくりにしてしまう。外国人だって真面目な人もいるし、それは日本人だって変わらないのだけれども、外国人だから(という理由だけで)シャットアウトしてしまう。それは日本人側の問題だと思う。

#### 地域の日本語教室について

- 委員：日本語を教えている対象は誰なのか。
- 委員：例えば、国際化協会でも子を持つ保護者向けに日本語教室を開催しているし、ボランティアの日本語教室も毎日通えるくらい、(各教室が週一回ずつ)各曜日に開催している。その教室によってはビギナーや上級者など対象が分かれていたりする。
- 委員：教室に来ている外国籍の方は、日本人配偶者が多い印象がある。
- 委員：夜やっている教室もある(仕事帰りに日本語を学ぶ外国人もいる)。残業がある方だと通えないこともある。会場が市内の学習センターなので 19時～21時に実施するのが精いっぱい。(日本語を学びたいけれども)残業のため 19時に間に合わないという方も結構いる。
- 委員：日本語教室に通う外国人は、(日本で)生活する上で日本語が必要だという認識で日本に来ているのか。
- 委員：もちろん、日本語が必要だと思って生活している。
- 委員：わたしが日本語を教えている相手はビジネスパーソン。日本語だけでなく、日本人と仕事をするときにお互いが気持ちよく働けるように必要な情報も提供している。実際には仕事だけでなく、日本で生活していく上での考え方やルールを教えていることも多い。毎日生活しているわけなので、ゴミ出しや近所の方とうまく付き合うにはどうすればよいか、病院に行くとき(はどうすればよいか)などについても教えている。このように会社経由で情報(日本で生活する上でのルール)を得ている外国人もいる。

## この会議の方向性は？

- 委員：みなさん色々な意見や思いを持っているようだ。みなさんで意見を出し合ってもいいが、方向性が見えないとどのような意見を言えばいいのかわからない。
- 事務局：地域で外国人がもっと参画することができれば地域が活性化するのはないか、それがやまとの魅力なのではないか、というテーマをこの会議で設定した。
- 委員：地域が活性化するとは、具体的にはどのようなイメージなのか。
- 事務局：例えば、人口が増えれば地域が活性化していると言える。現在、どの自治体でも人口減少が課題になっている。大和市のような都市部でも人が出ていかない、人に住んでみたいと思わせる取り組みが必要になっている。労働力として外国人を日本に受け入れるという議論があるが、現在住んでいる外国人だけでなく、これから新たに日本で生活する外国人が増えており、外国人の割合が増える傾向は続く。日本人を含め、外国人も大和市に住んで、税金を納める人を増やすことができれば、地域の活性化につながっていくものと考ええる。
- 事務局：外国人と日本人のお互いの交流が活発になれば、異文化に触れることでお互いが成長したり、いろいろなものの見方が可能になったり、精神的にも豊かになったりして地域が豊かになっていく。大和の場合、多くの国籍の外国人がいる地域なので、この特色をどのように見せていくのかが重要になってくるし、逆に行政はいろいろな国籍の外国人に対応する必要があるというむずかしさもある。多言語の対応など、行政の対応が追い付いていない部分もある。
- 委員：行政側から考えると、外国人が多く住んでいることでいろいろなトラブルや困ったことも発生しているのではないか。
- 事務局：ゴミ出し、税金の滞納の問題など耳に入るのは負の部分があることも事実。国際化協会がやっている事業だとか、いい部分もちろんある。
- 委員：日本人にとっても外国人にとっても同じ問題だが、なぜ税金滞納が起こっているのか。外国人は自分で申告する必要があったりなどの問題があるのかと想像するし、そうであれば外国人には何かしら対応が必要なのかと思う。外国人にルールを知らしめる方法を考えなくてはいけない。
- 事務局：市がそのような取り組みを考えていくのは大切なことだと考える。ただ、この会議で税金の滞納といった問題を取り上げるわけではない。

### 3 グループワーク

グループに分かれ「参加」と「参画」の違いを取り上げて、それぞれの事例を作成した。

(グループ1)

○「参画」・・・地域活動について意見を持って自治会の会合に参加した。

○「参加」・・・地域清掃に参加した。防災訓練に参加した。

(グループ2)

○参加と参画の違いを理解することが大事なのではなく、参画してもらう取り組みが大事。

そのためにはまずコミュニケーションがとれること。また、(外国人と日本人が参加する)いろいろな場はあるけれど、言葉の問題があるために(外国人が)参画するまでには至らない。

○交流する場に参加するだけでも参画になり得るのではないか。

○参加してもらうにはどうしたらいいかといえば、大和の地酒でも出したりするといいいのではないか。

○外国人は言葉の問題があるので、会議の場には出にくい。参画してもらうには、交流の場で非日常的なお話をし、それを受け止めたり、コミュニケーションを重ねたりする機会が必要なのではないか。

(グループ3)

○運動会と遠足を事例に考えた。

	参画	参加
運動会	競技を考える人 順番を考える人 全体のプランを考える人	競技に出る人 競技を見る人
遠足	スケジュールを考える人 安全を考える人 コースを考える人	遠足に行く人

### 4 今後のスケジュール

次回は3月12日(土)14:00～、同じ市役所分庁舎2階会議室で行う。

以上